

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

採材現地検討会を開催いたしました。



会場の様子



グループによる採材



意見交換の様子

【8月24日（水）】真室川町内の国有林において、採材現地検討会を開催いたしました。

採材とは？立木を伐採した後、適切な長さに切りそろえる重要な作業の事です。

初めに、東北森林管理局担当者から木材の動向について説明があった後、樹種や大きさが異なる広葉樹4本を対象に3グループに分かれて採材（曲がりや欠点を考慮して切断する位置に印を付ける）を行いました。

採材後、各グループより採材する箇所の原因などを発表してもらい、意見交換を行った後、採材結果に基づいて造材（切断）を行いました。

最後に、東北森林管理局担当者から講評をいただき検討会を終了いたしました。

広葉樹は伐採する時期や造材（切断）する箇所により、その価値に大きな差が生じます。（長さ、太さ、曲がり、節などを見極める必要がある）

今後も、当支署で伐採される良質な広葉樹については、積極的に有利販売に努めてまいります。

分収育林現地見聞会を行いました。



オーナーの皆さま



説明する職員

【8月25日、26日】分収育林現地見聞会を実施いたしました。

分収育林制度（みどりのオーナー）とは、国とオーナーの皆さまがその樹木を共有して育て、売却時に、それぞれの持分に応じて販売代金を分け合う制度です。

また、分収育林見聞会とは、販売を予定している箇所を事前にオーナーの皆さまに生育状況や販売時期、入札方法など具体的に説明することです。

オーナー皆さまからは、木材価格の状況やスギの生育状況、手入れの仕方（枝打ち）について質問されるなど、関心の高さが伺われました。

※今回、販売の対象となる箇所はスギの一斉林で、生育状況等良好な箇所です。（9月下旬に一般公売予定です）

山形森林管理署 最上支署
〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11
TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706



国民の森林・国有林